

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら野田教室(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和6年6月1日		～ 令和6年6月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和6年6月1日		～ 令和6年6月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年7月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公園が近いことや庭があることで、活動の幅が広がっている。	人数や天候によって室内と外を使い分けて、それぞれの場での活動を考えている。公園では外ならでの広さも使って、リレーや鬼ごっこなど全員で体を使ったダイナミックな活動も取り入れている。	室内、外共に活動のバリエーションを増やせるように職員から広くアイデアを募集したり調べたりしていく。必要な道具などは安全性や使い方も相談して、購入を検討する。
2	発達に合わせてプログラムの取り組みに変化をつけ、充実した取り組みになるようにしている。	同じプログラムでも、発達に合わせてアプローチを変えている。子どもたちがチャレンジできる環境を整え、自ら意欲的に取り組めるように取り組みのアプローチを職員同士で話し合っている。	子どもたちの発達段階について、支援計画や専門的支援計画を各職員が読んで理解を深める。朝礼や昼礼時に進め方を具体的に共有していく。
3	社員に限らず様々な職員が虐待や強度行動障害等の研修を受ける機会を作っている。	ミーティングや振り返りを通じて、支援の質について話し合いを重ねるoff-JTと現場でのOJTを組み合わせて職員の意識向上に努めている。その中で保育士資格取得や虐待の県の研修を希望する職員もでてきた。	取得した資格や受講した研修の内容を現場で生かしていけるよう、伝達研修やミーティングでの報告の場も作っていく。報告を聞いた他の職員が次の資格取得や研修参加へのモチベーションとしていけるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者同士の交流が出来ていない。	感染症の流行などを見ると、一堂に集まって過ごすことにリスクを感じている。	地域の感染症流行状況や教室での子どもたちの様子など丁寧に観察し、一度に集まる人数や時間をこまかく設定し、慎重に企画をしていきたい。
2	帰りに学童や祖父母宅送迎の方への情報共有が難しい。	働く保護者の増加により、帰りの送迎先が学童や祖父母宅ということもある。その際に最近の様子や活動の様子などなかなか共有できていない。	アプリでのサービス提供記録やメッセージなど使い、今日の様子や最近の様子をお知らせする。また気にかかることがあれば、電話や面談もセッティングして課題や成長面をお互いに把握し切れ目ない支援を目指す。
3	パート、社員と従業員がシフトで勤務するため、情報の共有に時間がかかる。	出勤日数や時間のずれから同じタイミングでミーティングや振り返りを行うことが難しい場合がある。	連絡ノートや朝礼、振り返りを活用し繰り返し必要な情報を伝えていくことや、社員を中心に声を掛け合って情報を共有する意識を高めていく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 8月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 野田教室

保護者等数(児童数) 18(20) 回収数 18 割合 90.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17件	1件	0件	0件	・室内と外(庭)もあるので良い ・ボウリング風船あそびができるくらい広い。 ・確保されていると思います。	庭での外遊びがある分、走り回る活動もあるため、事故や怪我のリスクも高まります。庭での活動の時間は、特に職員配置を気を付ける等、気を付けていきたいと思っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18件	0件	0件	0件	・しいて言えば「言語聴覚士」の資格を持った方がいると、尚心強い。月1回でも支援プログラムを受けられると良い。 ・適切だと思います。	定期的な職員の研修会や勉強会等の開催を続け、職員の教育に力を入れていきます。言語聴覚士はご要望が多いのですが、現在は在籍がないので、言語の発達についてについても研修参加等、職員のスキルアップを目指し、出来る限りの支援をしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15件	0件	1件	2件	・段差の少ない外からまわれるようになっている。	利用児に合わせた環境作りを心掛けていきます。わかりやすい絵をつけた表示や、室内の掲示物等も、工夫していきたいです。また、利用児の導線を考え、ぶつけやすい場所や、怪我をしやすいものがないか等、日々安全を考えた環境作りをしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18件	0件	0件	0件	・客観的にみていただいている。 ・作成されていると思います。	児童発達管理責任者を含め職員間でのカンファレンスや、保護者、利用児とのコミュニケーションを大切に、計画しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15件	3件	0件	0件	・毎月重ならないようにしてあると思います。 ・曜日固定だとパターン化しやすい気がします。 ・色々なプログラムがあり助かります。	プログラムは、その季節に合わせた活動を心掛け、食育では、旬のものを取り入れるよう、工夫をしています。イベントや行事等は、曜日に偏りがないよう、各曜日の利用児が楽しめるよう、計画していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4件	0件	6件	8件	・利用日が週1のため、そういった交流があるのかわからない。 ・そういう機会もあるといいと思います。	現在、他の幼稚園等と関わる機会を計画することができていません。近隣でもまだコロナやインフルエンザ等の感染が出ている状況ですので、もう少し状況が改善した後、今後の課題として検討していきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18件	0件	0件	0件	・しっかりと説明がありました。	契約時に児童発達支援管理責任者が書面をお渡ししつつ、説明をさせていただきます。その後も、利用者負担額等が変わった時には、書面を作成しなおし、都度ご説明します。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17件	1件	0件	0件	・都度報告してくれている。 ・アプリになってから通知などの機能があるのかもしれないが、通所日しか開かないので連絡を見遅れることがある。 ・できていると思います。	送迎時は時間を取ってのお話ができないため、何か追加でお話する必要がある場合は、職員と連携しつつ、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。また、都度お電話でのご相談や面談をさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18件	0件	0件	0件	・アプリなどで報告や様子を発信してくれ、TELでもすぐ対応してくれる。 ・助言はもらっています。	半年に一度のモニタリング時に限らず、心配事があった場合等、都度お電話や面談をさせていただきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3件	1件	9件	5件	・保護者もなかなか時間がとれないので、少なくともいい。 ・他の保護者との面識がないので分からない。 ・いつかあるといいなと思います。	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたいと思っています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13件	0件	0件	5件	・すぐに対応してくれていると思います。 ・苦情を申し出ることが特になかったため分からない。	保護者様からご連絡をいただいた事項等は、連絡票に記載する習慣をつけ、ミーティング等で職員間の情報共有をしており、対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18件	0件	0件	0件	・アプリや電話など配慮されている。 ・送りの際、今日の様子を保護者と話してから車のドアをあけてくれる。 ・されていると思います。	心配事などがあれば、いつでもお電話をいただき、お話をさせていただきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18件	0件	0件	0件	・会報など発信してくれている、見るのも楽しみです。 ・定期的に活動を知れています。	「こぼんはうすくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しています。「こぼん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きで紹介しています。今後も、様子がわかるような配信をしていきたいと思っています。
14 個人情報に十分注意しているか	18件	0件	0件	0件	・注意していると思います。	個人情報の取り扱いについては、職員研修等で指導しています。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18件	0件	0件	0件	・アプリなどでもお知らせしてくれている。(契約時にもあったが) ・避難場所など説明されています。	避難訓練の様子も、こぼん通信等でご紹介していきたいです。また、遠足で防災センターに行くことも計画したいと思っています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18件	0件	0件	0件	・行われている。 ・定期的に訓練しているみたいです。	定期的に避難訓練をプログラムに入れています。利用児もスムーズに動けるようになってきているので、引き続き、指導していきたいと思っています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17件	1件	0件	0件	・毎日行くことを楽しみにしています。 ・とても楽しみにしている。「今日はこぼんさん?(やったー!)」と聞いてくれる。 ・毎回とても楽しみにしています! ・学校より楽しいみたいです!	楽しみながら療育に繋がるようなプログラムを計画していきます。曜日ごとに偏りがないよう、バランスの良いプログラムを心がけています。また、個々の発達に合わせ、無理のない、有益な療育ができるよう、心がけていきたいと思っています。
	18 事業所の支援に満足しているか	18件	0件	0件	0件	・とても丁寧に支援して下さいます。いつもありがとうございます。 ・よくみて、支援してくださっていると思います。とにかく子供が楽しんでいるのが一番です。 ・いつも手厚い支援に大満足です。	今後もご満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携し、療育をしていきたいと思っています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 8月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 野田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11件		適切である。活動に応じて度も活用している。	安全に過ごせるように配慮している
	2	職員の配置数は適切である	11件		適切である。最低基準の2~3倍配置している	配置人数が多い分、個々に対しプログラムが充実するようにしている 職員の急病等での急な職員不足に対応できるよう連絡体制を整えておく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11件		ドアのダブルロックを高い位置につけたり、コンセントも手の届きにくい場所に設置したりしている。給カードもすぐにいせるところに用意し情報伝達に利用している。	危険なところがないか日々整備する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11件		ミーティングや振り返りの時間を使って、課題や成長面について共有を行っている。	シフトの時間がずれることもあるので、連絡ノートやこまめな声掛けを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11件		毎年アンケートを行い、集計内容についてミーティングを行って改善に努めている。	回収率が低いので、お声かけする
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11件		こぼんはうすさくらのホームページに公開し、野田市のページにも公開している。	保護者の声や評価を支援に活かしていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11件		こぼんはうすさくら本部の方にアドバイスをいただいている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11件		事業所内でのミーティングや研修のほかに、県の研修なども受ける機会を設けている。 積極的に意見を出し合い、資質の向上に努めている	職員のスキルアップがしやすい環境になっている 研修で学んだ内容を支援に活かしていく
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11件		面談時に丁寧に聞き取りを行うと共に必要に応じて相談にものり、支援計画に反映させている。	保護者の希望も理解して支援を工夫していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11件		本部からの指導の下にアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11件		児童発達支援管理責任者と管理者を中心に、支援員と日々相談しながら立案、準備運営を行っている	
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11件		季節の食育や、毎月違ったプログラムを作成している	1つのプログラムでも曜日を変えて参加できるようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11件		平日、休日、長期休暇に合わせたプログラムを作成している 長期休暇には、児童発達支援と放課後デイサービスの交流などいつもと違ったプログラムあ遊びを取り入れている	プログラム以外の時間も子どもたちと話し合っ、集団や個別の活動を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	11件		個別の課題と集団での課題を意識して支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11件		毎朝朝礼で支援について説明し役割分担を行っている。 子どもの状況についても確認している	途中から入る職員がいる場合は、支援リーダーのもと確認する 経験や能力を考慮して、最適な配置を心がける
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11件		振り返りを行っている。参加できなかったメンバーのためにノートも記入して活用している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11件		振り返りノートを活用している。	課題になることはなるべく早く児童発達支援管理責任者と相談していく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11件		基本は半年に1度のモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っている。	必要があれば期間中にも都度見直ししていく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	11件		偏りのないように組み合わせる計画し、支援を行っている。	
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11件		児童発達支援管理責任者が出席している
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11件		送迎のルールや担当の先生の確認を年度初めに行うと共に、下校時間等は保護者を通じて連絡をもらい、調整をしている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11件		対象外	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11件		子どもや家庭に関わる関係機関とは、児童発達支援管理責任者が情報共有を行っている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11件		児童発達支援管理責任者が情報の共有を行っている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11件		児童発達支援管理責任者が、必要に応じて、連携し助言を受けている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している	

携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8件	3件	感染症の心配などもあり、交流はまだ難しい。	外出行事などの際は外出先での交流や社内事業所間の交流を行っている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	11件		開催があれば児童発達支援管理責任者が参加している。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11件		送迎時に様子を伝えあっている他、モニタリング以外にも電話や面談で課題の共有を行っている。	保護者からの情報は、いち早く児童発達支援管理責任者に報告をする
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	11件		コロナ前は市でのプログラムがあったが、今は開催していないため、児童発達支援管理責任者がフォローしている	電話や面談で教室での対応を紹介したりご自宅での対応についてアドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11件		契約時に説明の上サインをいただいている。変更時には変更した書類をご説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11件		モニタリング以外にも、電話や面談で相談を受け付けている。	相談を受けた際には、詳細をしっかりと聞き取り、児童発達支援管理責任者へ報告し、助言、支援に繋げている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3件	8件	コロナ前には企画していたが、現在は休止している。	感染症が落ち着いてきたら徐々に再開していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11件		重要事項説明書に苦情受付窓口、担当者を記載している 苦情があった際は、すみやかに児童発達支援管理責任者が対応するようにしている	迅速に対応し、職員同士で振り返りをして再発防止に努めている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11件		こぼんはうすだより、通信を発行し、活動の概要や教室の様子をお伝えしている。	紙での発行からアプリでの配信となり、まだ操作に慣れていない方がいるので丁寧にフォローしていく
	35	個人情報に十分注意している	11件		定期的なミーティングにて確認を行っている 鍵付きキーヤビネットに入れ、施錠して帰っている。持ち帰りは禁止。	書類の出しっぱなしがないよう、毎回確認する
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11件		子どもたちには絵カードや写真を使って伝達している。保護者にはメモやメッセージ機能を使っている。	伝えたりもりでも済まず、再度確認していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4件	7件	感染症の心配などもあり、交流はまだ難しい。	感染状況が落ち着いてきたら企画していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11件		各マニュアルを作成し、訓練を実施している。保護者には契約時に説明し、年に1回防災通信を発行している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11件		各マニュアルを作成し、訓練を実施している。	訓練不参加の利用児を減らすため、複数回実施する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11件		県の研修に代表者が参加し、社内でも研修会を行っている。	研修会欠席者にも伝わるよう、議事録連絡ノートを活用
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11件		身体拘束適正化委員会を開催し、身体拘束について話し合いを行っている。また保護者にも契約時や面談時に説明の上支援計画にサインをいただいている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11件		契約時に児発管が確認、変更があった際にも確認を行い、個人ファイルに情報を記載している。おやつや食育の際は、アレルギー除去をしてダブルチェックを行ってから提供している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11件		作成し記入している。ヒヤリハットファイル参照。	個々でヒヤッとする度合いが違うので、小さなことでも出来事として共有するようにする	